

THE
DANCE
TUBE



鳥取県文化団体
連合会機関誌

2024.9

Vol.

17

鳥カル だより

題字 柴山抱海



CONTENTS

表紙写真 [THE DANCE TUBE 13th] [音楽劇さくら姫物語]

P2 令和6年度の活動に向けて
鳥取県文化団体連合会 会長 小谷 幸久

P3 鳥取県文化団体連合会について

P4~P5 令和5年度 写真で綴る県文連
鳥取県文化団体連合会加盟団体 助成事業実施一覧

P6 事務局報告
P7 加盟団体一覧

P8 リレー随筆「オーケストラ、その甘美な夢」
鳥取県オーケストラ連盟 副会長 井上 拓也



令和6年度の活動に向けて

鳥取県文化団体連合会 会長 小谷 幸久



今年度も早2ヶ月が過ぎ総会に当たる定例理事会の開催が迫っております。昨年度来コロナ感染症に悩まされることなく、本連合会の助成金22事業が実施出

来しましたことは、大変嬉しいことでした。又新たに立ち上げた公式ホームページも立派なものが出来上がりました。是非ページを覗いてやって下さい。更にはこれも新しい取組で県内の文化芸術活動の裾野の拡大を図るため、若年層(概ね、幼児から高校生年代まで)を対象として「次世代に向けた文化芸術の種まき講座」は鳥取県写真家連盟にお世話になり実施する事が出来ました。

もう一つ連合会の自主事業「鳥カル研修会」を2会場にて開催しました。どれもそれなりに成果を上げたのではないかと思います。

いよいよ令和6年度の活動が5月、「アザレア音楽祭」を皮切りにスタートしました。各事業が盛大に開かれる事を願っています。

自主事業「鳥カル研修会」はマネージメント研修会として

助成金事業の事業計画書の作成の手順の策定など書式のサンプル作り等の少し込み入ったものになります。が事業申請には欠かせないものとなる予定ですので、各団体の会長さん、事務局長さんはなるべく都合を付けて参加いただくとありがたいです。

10月に開かれます「ねんりんピックはばたけ鳥取2024(10月19日～22日)」の中で「音楽文化祭」が倉吉未来中心(エースバック未来中心)大ホールで、「俳句交流会」が鳥取市文化センターで、「民謡交流大会」が日南町総合文化センターで10月20日にそれぞれ開催されます。更に「美術展」が境港市市民交流センター(みなとテラス)で「日本画・洋画部門」、倉吉博物館で「彫刻・工芸・書・写真部門」が10月19日～22日、それぞれ開催されます。折角の機会ですので多くの方々足を運んでいただきますようこの場を借りてご紹介致します。

宮崎常任理事(舞台分野)が3月末にて退任されました。長い間、常任理事としてご苦勞様でした。

通常の生活習慣を取り戻した今日鳥取県文化団体連合会の活動がコロナ禍に惑わされることもなくより一層発展することを祈ります。

鳥取県文化団体 連合会について

鳥取県文化団体連合会、略して県文連は、県域の文化団体と市町村文化協議会が集まり、地域の文化活動の振興を目的として平成8年3月に設立されました。現在、舞台・文芸・展示分野の県域文化団体28団体と、市町村文化協議会8団体の合計36団体が加盟し、鳥取県内の文化活動における裾野の拡大、県民の文化活動への参加促進及び活動者の質の向上を図るための事業を行っています。

概要

団体名	鳥取県文化団体連合会
所在地	〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町21番地 県民ふれあい会館3F
TEL&FAX	0857-21-2302
代表者	会長 小谷 幸久
設立年月日	平成8年3月7日
目的	県内文化団体相互の連絡協調を図るとともに、地域文化振興のための各種事業の企画、実施等を行い、本県の文化の振興に寄与することを目的とする。
事業	1. 県内文化団体相互の連絡協調 2. 鳥取県文化団体連合会主催事業の企画、実施 3. 機関誌の発行等文化関係情報の収集提供 4. 県内文化団体の育成 5. その他目的を達成するために必要な事業
加盟団体	1. 音楽、演劇、舞踊、伝統芸能、美術、文芸、生活文化等の各分野別の活動を県下で広域的に統括する芸術文化団体(分野別県域文化団体)28団体 2. 各分野別の団体が参画し組織する市町村単位の総合的文化団体(市町村文化団体協議会)8団体

主な事業内容

鳥取県文化団体連合会主催事業

1. 鳥カル研修会

・芸術活動従事者が芸術活動の実施及び継続の為に必要となる知識・方法を身につけることを目的に、会員を対象とした鳥カル研修会を開催する。

2. 鳥取県文化団体連合会加盟団体助成事業補助金

各県域文化団体が行う事業の実施に要する経費の一部を補助し、特色ある地域文化の振興を図る。

- 1) 対象事業 鳥取県文化団体連合会加盟の県域文化団体等が主体的に開催する事業
- 2) 補助率等 補助対象経費の1/2 (1団体上限150万円 (ただし、モデル事業を実施する場合、会長が必要と認めた場合は200万円))

3. 機関誌「鳥カルだより」の発行

会員相互の情報交換・情報発信を活性化させるため、機関誌を年1回程度発行する。

4. 公式ホームページの開設鳥取県文化団体連合会加盟の全団体についての広報

鳥取県文化団体連合会国際交流支援事業

鳥取県文化団体連合会の加盟団体が、韓国江原道をはじめ海外の文化団体と行う国際交流事業に対し、両地域の文化団体相互の芸術文化を通じた理解並びに文化交流を促進するため、支援を行う。補助率は補助対象経費の1/2。

会議

理事会、常任理事会等の会議を開催し、連合会の運営等に関する諸事項を協議するほか、情報交換等を行う。併せて、県内外の文化情報の収集提供を行う。また、「舞台」「展示」「文芸」「市町村」の4分野ごとに分野別会議を開き、各団体の事業紹介、日程調整、相互参加、事業、活動に関する意見交換を行う。

次世代に向けた文化芸術の種まき講座

県内の文化芸術活動の裾野の拡大を図るため、若年層(概ね、幼児から高校生年代まで)を対象として、文化芸術入門講座を実施する。



令和5年度 写真で綴る

県文連



令和5年度 鳥取県文化団体連合会加盟団体 助成事業実施一覧

実施団体	公演・展示・大会・研修等			
	事業区分	事業名	日程	会場
1 鳥取洋画家協会	小規模支援型	第7回鳥取洋画家協会展	4月19日～4月23日	とりぎん文化会館 展示室
2 鳥取県音楽祭サミット	基本型モデル	アザレア音楽祭2023	5月14日～6月25日	倉吉未来中心 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール 倉吉シティホテルチャペル
3 鳥取県合唱連盟	基本型	「とっとり コーラス POWER UP プロジェクト 2023」 ①著名指導者によるスキルアップ事業 ②自己研鑽・交流サポート事業	令和5年7月～	①倉吉未来中心 リハーサル室 県内各所
4 鳥取音楽座	小規模支援型	因幡ミュージックライブ2023(コンサート)	7月9日	岩美町中央公民館 いわみんホール
5 鳥取県書道連合会	小規模支援型	第43回鳥取県書道連合会書道講習会	7月30日	北栄町北条農村環境改善センター
6 鳥取県演劇連盟	小規模支援型	ドラマリーディング公演「明日のハナコ」	8月6日	とりぎん文化会館 小ホール
7 鳥取県合唱連盟	基本型	第62回鳥取県合唱フェスティバル(全日本合唱コンクール鳥取県大会)	8月20日	倉吉未来中心 大ホール
8 鳥取県美術家協会	小規模支援型	第25回裸婦研修会	9月30日・10月1日 10月1日・2日 10月21日・22日	県立博物館 米子市公会堂 伯耆しあわせの郷
9 鳥取県民踊指導者連盟	基本型	「民踊・フォークダンス フェスティバル」公演	10月8日	鳥取産業体育館
10 鳥取県川柳作家協会	小規模支援型	第46回鳥取県川柳大会	10月15日	県民ふれあい会館
11 鳥取県写真家連盟	小規模支援型	鳥取県写真家連盟第25回合同写真展及び写真セミナー	10月18日～10月24日 写真セミナー 10月22日	とりぎん文化会館 展示室/第1会議室
12 鳥取ストリートダンス連盟	小規模支援型	The DANCE TUBE 13th	10月22日	ハワイアロハホール
13 鳥取県歌人会	基本型	第52回鳥取県民短歌大会	11月12日	倉吉交流プラザ
14 鳥取県能楽連合会	小規模支援型	第29回 観世流・宝生流・喜多流 合同能楽祭	11月12日	とりぎん文化会館 小ホール
15 県民による第九公演実行委員会	基本型モデル	県民による第九鳥取公演	12月10日	とりぎん文化会館 梨花ホール
16 鳥取県美術家協会	基本型	第28回鳥取県美術家協会作品展	令和6年1月30日～2月4日	倉吉博物館
17 鳥取オペラ協会	小規模支援型	鳥取オペラ協会プレゼンツ!ニューイヤーオペラコンサート～カルメン編～	2月3日	米子コンベンションセンター 小ホール
18 鳥取県オーケストラ連盟	基本型	鳥取県オーケストラ連盟演奏会 米子公演	令和6年2月11日	米子市公会堂
19 鳥取県書道連合会	基本型モデル	第45回記念鳥取県書道連合会展	令和6年2月21日～2月25日	倉吉博物館
20 鳥取県ミュージカル連盟	基本型モデル	鳥取県ミュージカル連盟 第8回合同公演ミュージカル 「第37回鹿野ふるさとミュージカル」音楽劇さくら姫物語「鳥取公演」	令和6年2月25日	鳥取市民会館 大ホール
21 鳥取県ピアノ指導者協会	基本型	ヤングピアニストコンサート2023	令和6年3月17日	ハワイアロハホール
22 鳥取洋画家協会	小規模支援型	第8回鳥取洋画家協会展	3月20日 3月24日	とりぎん文化会館 展示室

その他実施事業

事業区分	事業名	日程	会場
A 次世代に向けた文化芸術の種まき講座	県委託事業 「写真って楽しいよ!子どもたちのための写真講座」	7月29日	鳥取県立博物館講堂および外周辺
B 鳥カル研修会 初級編	YouTubeを始める準備と基礎知識	令和6年1月27日	県民ふれあい会館中研修室2
C 鳥カル研修会 中級編	動画や写真を撮る過程を体験	令和6年2月3日	まなびタウンとうはく



鳥取県文化団体連合会 事務局報告

令和5年度事務局報告

1 鳥取県文化団体連合会 主催事業

【情報発信】※鳥カルブログは随時更新
 ・令和5年9月に鳥取県文化団体連合会機関誌「鳥カルだより」第16号を発行した。
 ・公式ホームページを作成した。鳥取県文化団体連合会加盟の全団体についての広報を目的

【次世代に向けた文化芸術の種まき講座】

県内の文化芸術活動の裾野の拡大を図るため、若年層（概ね、幼児から高校生年代まで）を対象として、文化芸術入門講座「次世代に向けた文化芸術の種まき講座」の実施を県から受託して以下の通り実施した。
 協働で開催する加盟団体：鳥取県写真家連盟
 事業名：「写真って楽しいよ！」
 子どもたちのための写真講座
 委託業務実施時期：令和5年7月20日（土）
 場所：鳥取県立博物館講堂および外周辺
 内容：子どもたちのための写真講座（1）

【鳥カル研修会】
 YouTube 初級編、中級編に分けて2会場を実施
 講師：富山 拓朗氏（LifeFiX松江営業所所長）
 初級編
 ・会場 県民ふれあい会館中研修室2
 ・日時 令和6年1月27日（土）
 ・内容 YouTube を始める準備と基礎知識
 中級編
 ・会場 まなびタウンとうほく
 ・日時 令和6年2月3日（土）
 ・内容 動画や写真を撮る過程を体験

【鳥取県文化団体連合会加盟団体助成事業補助金】
 事業一覧を4ページに掲載

2 鳥取県文化団体連合会国際交流支援事業

・令和5年度事業の実施はなし。

3 会議

【定例理事会・常任理事会・分野別会議】
 ・第1回常任理事会
 書面による開催 令和5年5月

鳥取県文化団体連合会 令和5年度 収支決算書 (単位:円)

活動支援補助金

	予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)
1) 収入			
1) 補助金	18,136,000	16,269,193	△ 1,866,807
2) 雑収入	0	58	58
合計	18,136,000	16,269,251	△ 1,866,749
2) 支出			
1) 開催助成費	12,000,000	10,732,500	△ 1,267,500
2) 運営事務費	6,136,000	5,536,751	△ 599,249
3) 雑支出	0	0	0
合計	18,136,000	16,269,251	△ 1,866,749

委託事業

	予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)
1) 収入			
1) 委託費	200,000	99,998	△ 100,002
合計	200,000	99,998	△ 100,002
2) 支出			
1) 委託費	200,000	99,998	△ 100,002
合計	200,000	99,998	△ 100,002

自主財源

	予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)
1) 収入			
1) 会費	335,000	345,000	10,000
2) 雑収入	0	6	6
3) 繰越金	500,000	549,434	49,434
合計	835,000	894,440	59,440
2) 支出			
1) 鳥カル研修会	350,000	181,340	△ 168,660
2) 会議費	360,000	193,105	△ 166,895
3) 事務費	50,000	20,970	△ 29,030
4) 予備費	75,000	0	△ 75,000
合計	835,000	395,415	△ 439,585

収入金額 894,440円 - 支出金額 395,415円 = 差引金額499,025円
 次年度への繰り越し

鳥取県文化団体連合会 常任理事一覧 (任期2年：令和7年3月31日)

役職	名前	所属団体・役職	分野(座長〇印)
会長	小谷 幸久	米子市文化協議会会長	〇市町村
副会長	柴山 抱海	鳥取県書道連合会会長	〇展示
	計羽 孝之	鳥取オペラ協会会長	〇舞台
常任理事	尾坂 俊恵	鳥取県ピアノ指導者協会会長	舞台
	永見 信久	鳥取県オーケストラ連盟会長	舞台
	黒田 昌幸	鳥取県ミュージカル連盟会長	舞台
	四門 隆	鳥取県音楽祭サミット会長	舞台
	中尾 廣太郎	鳥取洋画家協会会長	展示
	牧野 芳光	鳥取県川柳作家協会会長	〇文芸
	塩谷 義勝	鳥取市文化団体協議会会長	市町村
	中宇地 節雄	青谷町文化協議会会長	市町村
	松本 利秋	日野町文化団体連絡協議会会長	市町村
	長谷川 隆	鳥取県教育委員会事務局教育次長	行政
オブザーバー	片山 暢博	鳥取県地域社会振興部文化振興監	行政

【協議】
 令和5年度第1回定例理事会について
 (1) 令和4年度事業報告及び収支決算書について案のとおり承認
 (2) 役員改選について案のとおり承認

【協議】
 令和5年度第1回定例理事会・分野別会議
 令和5年5月30日(火)
 県民ふれあい会館 講義室

【協議】
 令和4年度事業報告及び収支決算報告について案のとおり承認
 (2) 常任理事の改選について推薦状のとおり承認(任期は2年間)
 (3) 会長、副会長の選任について常任理事会の推薦のとおり承認
 一 舞台・展示・文芸・市町村分野
 令和5年度の取り組み等について話し合った。

【協議】
 令和4年度事業報告及び収支決算報告について案のとおり承認
 (2) 常任理事の改選について推薦状のとおり承認(任期は2年間)
 (3) 会長、副会長の選任について常任理事会の推薦のとおり承認
 一 舞台・展示・文芸・市町村分野
 令和5年度の取り組み等について話し合った。

【協議】
 令和4年度事業報告及び収支決算報告について案のとおり承認
 (2) 常任理事の改選について推薦状のとおり承認(任期は2年間)
 (3) 会長、副会長の選任について常任理事会の推薦のとおり承認
 一 舞台・展示・文芸・市町村分野
 令和5年度の取り組み等について話し合った。

【協議】
 令和4年度事業報告及び収支決算報告について案のとおり承認
 (2) 常任理事の改選について推薦状のとおり承認(任期は2年間)
 (3) 会長、副会長の選任について常任理事会の推薦のとおり承認
 一 舞台・展示・文芸・市町村分野
 令和5年度の取り組み等について話し合った。

【協議】
 令和4年度事業報告及び収支決算報告について案のとおり承認
 (2) 常任理事の改選について推薦状のとおり承認(任期は2年間)
 (3) 会長、副会長の選任について常任理事会の推薦のとおり承認
 一 舞台・展示・文芸・市町村分野
 令和5年度の取り組み等について話し合った。

【協議】
 令和4年度事業報告及び収支決算報告について案のとおり承認
 (2) 常任理事の改選について推薦状のとおり承認(任期は2年間)
 (3) 会長、副会長の選任について常任理事会の推薦のとおり承認
 一 舞台・展示・文芸・市町村分野
 令和5年度の取り組み等について話し合った。

【協議】
 令和5年10月4日(水)
 県民ふれあい会館 4階中研修室1

【協議】
 令和5年度以降の韓国芸総江原道連合会との国際交流事業(展示分野)について協議

【協議】
 令和5年10月4日(水)
 県民ふれあい会館 4階中研修室1

【協議】
 令和5年度鳥カル研修会について協議
 (2) 令和6年度事業計画・収支予算案について協議
 (3) 韓国芸総江原道連合会との国際交流事業について協議

【協議】
 令和5年度鳥カル研修会について協議
 (2) 令和6年度事業計画・収支予算案について協議
 (3) 韓国芸総江原道連合会との国際交流事業について協議

【協議】
 令和5年度鳥カル研修会について協議
 (2) 令和6年度事業計画・収支予算案について協議
 (3) 韓国芸総江原道連合会との国際交流事業について協議

【協議】
 令和5年度鳥カル研修会について協議
 (2) 令和6年度事業計画・収支予算案について協議
 (3) 韓国芸総江原道連合会との国際交流事業について協議

【協議】
 令和5年度鳥カル研修会について協議
 (2) 令和6年度事業計画・収支予算案について協議
 (3) 韓国芸総江原道連合会との国際交流事業について協議

【協議】
 鳥取県庁議会議決第14号議案
 (1) 韓国芸総江原道連合会との国際交流事業について協議

【協議】
 令和6年3月
 令和5年度第1回定例理事会について案のとおり承認

【協議】
 令和5年度第1回定例理事会について案のとおり承認

【協議】
 令和5年度第1回定例理事会について案のとおり承認

【協議】
 令和5年度第1回定例理事会について案のとおり承認

【協議】
 令和5年度第1回定例理事会について案のとおり承認

【協議】
 令和5年度第1回定例理事会について案のとおり承認

【協議】
 令和5年度第1回定例理事会について案のとおり承認

加盟団体一覧

(R6. 6月現在)

団体名	代表者氏名	事務局	設立時期	加盟団体数	加盟者数
舞 台					
鳥取県民踊指導者連盟	荒井 富佐子	西山 美智代	昭和45年 4月	32	216
鳥取県合唱連盟	原 礼子	小原 貴志	昭和37年 4月	29	569
鳥取県演劇連盟	尾上 貴尉	尾上 貴尉	昭和48年12月	4	32
鳥取県オーケストラ連盟	永見 信久	井上 拓也	平成 7年 1月	4	120
鳥取県吹奏楽連盟	吉川 隆司	長富 陽一	昭和35年	104	約2,500
鳥取県日本舞踊連合会	三谷 正美	代表 事務局 花柳 鮎	昭和45年11月	2	15
県民による「第九」公演実行委員会	藤井 一博	山根 頼博	昭和60年 2月	3	600
鳥取県洋舞連盟	目次 裕子	目次 裕子	平成 7年 5月	10	—
鳥取県能楽連合会	若川 睦子	小林 隆明	平成 7年10月	4	57
鳥取県吟剣詩舞道連盟	佐藤 翔風	佐藤 翔風	昭和30年 8月	3	176
鳥取県三曲協会	三田 扇山	楳原 桂山	平成 9年 9月	8	165
鳥取県民謡連合会	佐藤 松弘美	安田 敏廣	平成15年 5月	3 1個人	43
鳥取オペラ協会	計羽 孝之	鈴木 百百子	平成10年10月	1	55
鳥取音楽座	加藤 郁	加藤 郁	平成11年 1月	25	250
鳥取県ボールルームダンス指導者協会	渡辺 良平	渡辺 良平	平成12年 3月	4	54
鳥取県ピアノ指導者協会	尾坂 俊恵	新田 恵理子	平成17年 3月	1	48
鳥取県ミュージカル連盟	黒田 昌幸	黒田 昌幸	平成26年 6月	6	180
鳥取県音楽祭サミット	四門 隆	鈴木 百百子	平成31年 1月	1	20
鳥取ストリートダンス連盟	高塚 新司	高塚 新司	令和 5年 5月	11	460
展 示					
鳥取県美術家協会	中川 端月	赤本 和夫	平成 8年 9月	—	62
鳥取洋画家協会	中尾 廣太郎	中尾 廣太郎	平成28年 3月	2	37
鳥取県書道連合会	柴山 抱海	岩田 輝代	昭和54年 5月	3	446
鳥取県デザイナー協会	清水 文人	青木 孝志	昭和53年 8月	—	28
鳥取県写真家連盟	杉本 雅美	中山 哲史	平成18年11月	16	181
鳥取県七宝協会	岡垣 幸得	森 規子	平成16年11月	2	14
文 芸					
鳥取県歌人会	押本 昌幸	徳野 明了	昭和45年11月	10	140
鳥取県川柳作家協会	牧野 芳光	斉尾 くにこ	昭和52年10月	9	134
鳥取県俳句協会	白岩 敏秀	西村 ゆうき	平成 7年11月	—	265
市町村					
鳥取市文化団体協議会	塩谷 義勝	古波藏 淑紀	昭和38年 6月	67	2,945
米子市文化協議会	小谷 幸久	内田 聖	昭和21年 6月	60 25個人	3,800
境港市文化協会	湯越 敬	八木橋 果恵	昭和46年 5月	25	528
鹿野町文化団体連絡協議会	杉野 昭久	三浦 いづみ	平成11年 5月	22	336
青谷町文化協議会	中宇地 節雄	松原 好子	平成15年10月	14 18個人	216
湯梨浜町文化団体協議会	中本 曙美	安井 淳也	平成16年10月	49	530
北栄町文化団体協議会	別本 勝美	竹原 正純	平成18年 4月	22	150
日野町文化団体連絡協議会	松本 利秋	矢邊 慎一	平成11年 4月	12	125

オーケストラ、その甘美な夢

鳥取県オーケストラ連盟 副会長

井上 拓也



様々な楽器を持った数十人の演奏者が集まり、古今東西の天才作曲家が熱量を込めて作り上げた作品を、指揮者の棒の一振り

で奏で上げるひと時の夢。オーケストラはもちろん実態のある人間が作り出すものですが、そこで作り出しているのは生まれては消えていく実体的でない音です。しかしその音こそが、奏者と音楽を、奏者と奏者を、奏者と指揮者を、そして奏者と聴衆をつなぎ止め、ひと時の甘美な夢を共有します。

オーケストラは実態があると言いましたが、実際はとても不安定な状態を奇跡的に成り立たせているものです。標準的なオーケストラでは様々な楽器の奏者が必要。人数だけそろわなければなりません。フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴットが2人ずつ、ホルンが4人、トランペットが2人、トロンボーンが3人、ティンパニが1人。さらにコーラングレ、コントラファゴット、テューバやほかの打楽器など、多すぎても少なすぎてもいけない人数の管楽器と打楽器が必要です。そしてヴァイオリンが20人以上、ヴィオラ、チェロ、コントラバスがだいたい8人程度ずつ。鳥取や米子のような地方都市でこれだけの奏者がちょうどいい人数だけそろおうということは奇跡のようなことなのです。

我々が取り組んでいるアマチュア・オーケストラというのは、プロのオーケストラとはまた一味違った魅力を持つ

ています。アマチュア・オーケストラは日本に限らず世界中にあるものですが、日本ではやはり大学オーケストラの活動が盛んなことから、卒業して社会人になってもオーケストラ活動を続ける人が多く、全国に無数のアマチュア・オーケストラがあります。鳥取県内でも、県内の大学オーケストラのメンバー、卒業して県外から帰ってきた奏者、転勤で鳥取に来てくれた奏者が新しく入ってくるなどメンバーの新陳代謝も多く、活気のある活動を続けることができます。アマチュアの良ところは、長期間同じ曲に取り組むことで、その曲の魅力を深く追求できることです。練習はしつかりした上で本番は生演奏。一瞬ごとにアンサンブルを組み上げ、音楽を歌い、熱を込めて演奏し、うまくいけば練習でできていた以上の豊かな世界を作り上げることができま

す。オーケストラが演奏する音楽は、クラシックのほかのジャンルと音楽の作りが大きく変わるわけではなく、調性やメロディのあり方、ソナタ形式や変奏曲形式などの音楽の構成は、ピアノ・ソナタや弦楽四重奏と大きく違うわけではありません。しかしながらオーケストラが特徴的なのは、多彩な楽器の音色の魅力とその混ぜ合わせの面白さ、大人数による大迫力のサウンドでしょう。作曲家は自分の音楽の魅力が一番引き出せるような楽器の選び方をしており、演奏者はその気持ちよさを味わいながら演奏しています。同じメロディが、最初はクラリネットで出てきて、もう一度出てくると

きにはオーボエで演奏される時、違った風景、違った心情が思い浮かびます。また、ヴァイオリンとフルートが一緒にメロディを提示したり、金管楽器が一斉に重厚なハーモニーを奏でたり、そして全員合奏で圧倒的なファイナーレを構築したりと、音色の組み合わせの多彩さを楽しむことができます。

オーケストラは地域にあれば独特の機能を果たせる場合があります。豊かな海づくり大会が鳥取で行われた際には、天皇皇后両陛下の御

前で君が代の式典演奏をでき、オーケストラをやっていたよかったです。ひととき大きな感慨がありました。これも、鳥取にオーケストラがあればこそだと思つていきます。オーケストラが存在する地域はまだまだ元気があるという指標になると思つていきます。これからもぜひ地域のオーケストラを応援していただければと思います。



この「リレー随筆」は、
筆者が次の筆者を指名し、バトンをつないで進める企画です。

今回は、第九実行委員会 事務局長
山根頼博さんをお願いします。